

「いわきの今を見に行く！モニターバスツアー」 を開催しました



平成26年10月18日（土）、25日（土）の2日間、首都圏の大学生を対象にした「いわきの今を見に行く！モニターバスツアー」を開催しました。これは、いわき地方の県出先機関、いわき地方振興局、水産事務所、水産試験場及びいわき農林事務所の4機関が連携して実施したものです。このツアーの目的は、次代を担う若い世代の方々に震災・原発事故から3年半を経過した今の「いわき」の姿や取組を見て頂き、実際に現地で感じたことなどの意見を伺うことで、いわきの観光・農林水産業の再生に向けた今後の情報発信・風評払拭の参考とするものです。18日（土）が22名、25日（土）が30名の計52名の参加者を得て実施しました。

ツアーの内容は、有限会社とまとランドいわきにおけるトマト栽培の安全・安心の取組について説明を受けた後、トマトの摘み取り体験。次にいわき市農業協同組合カントリーエレベーターにおいて米の全量全袋検査の見学。水産試験場では農林水産物のモニタリング状況の説明、いわき産の農産物を使ったお弁当の昼食。最後に津波被害から復興した「いわき・ら・ら・ミュウ」及び「アクアマリンふくしま」の自由見学を実施しました。

参加者からは、「いわき産の農産物はとてもおいしい」、「想像よりも厳しい検査を行っていて驚いた」、「市場に出ているものは安全だとよくわかった」などの感想が聞かれました。

ツアー実施後は、参加者から意見や提案をレポートとして提出してもらい、今後の情報発信・風評払拭に生かしていきます。



米の全量全袋検査の見学



とまとランドいわきにて